



幻想的な光景に、自然と笑顔がこぼれます

雪 2008 スノーランタンフェスタ中山平 と光の手作りアート (鳴子温泉)

2月8日から11日までの4日間、鳴子温泉中山地区の公衆浴場しんとろの湯を会場に、「2008 スノーランタンフェスタ中山平」が開催されました。

スノーランタンの明かりには、中山平温泉旅館組合で使われた食用油をリサイクルして作られたろうそくと、このイベントの参加者が制作した、みつバチの巣を原料とした蜜ろうそくが使われています。会場を訪れた皆さんは、雪景色の中、幻想的な美しい光を放つオブジェに心を奪われているようでした。



熱心に聞き入る子どもたち。みんな、昔話が大好きなようです

地 昔語りを聞く会 域に伝わる文化を知ろう (岩出山)

2月1日、西大崎小学校で全校児童を対象に「昔語りを聞く会」が行われました。

この行事は、「岩出山おかしな会」の皆さんが郷土に伝わっている民話や言い伝えを子どもたちに聞かせようと、20年も前から続けています。地域の昔話が始めると、子どもたちは目を輝かせながら聞き入っていました。昔語りの後には、会の皆さんが子どもたちのところに遊んだ歌遊びを子どもたちに教えながら、一緒に楽しみました。古くからの文化は、子どもたちの心に受け継がれたことでしょう。

2月7日、加護坊山で「加護坊千本桜てんぐす病除去および整枝作業」が行われました。

この作業は、田尻地域のシンボル加護坊山の千本桜をてんぐす病から守るために毎年行われているものです。当日は、市内外から50人を超えるボランティアが参加し、てんぐす病にかかった桜の枝の運搬作業などを行い、切り落とした枝をチップ材に加工しました。チップ材は、千本桜遊歩道などに敷き詰められ有効活用されます。今年も千本桜が、加護坊山を淡いピンクに染め上げることでしょう。

加護坊千本桜てんぐす病除去および整枝作業 みんなで守る千本桜 (田尻)



美しい桜を守るため、みんなで力を合わせました

3月16日に、いよいよ、「第1回フランク永井 歌コンクール」が開催されます。

コンクールのポスターで使用した写真が、「往年のフランク永井さんを思い出す」と好評なことから、実行委員会では出場者への記念品に、この写真を使用したサンドブラストというガラス工芸品を贈ることに決定しました。記念品には、実行委員会のメンバーがフィルムを1枚1枚ガラスに張る作業を行うなど、「心に残るイベントにしたい」という皆さんの思いが込められています。

フランク永井 歌コンクール実行委員会 出場の思い出に、心を込めて (松山)



歌と共に愛されるイベントになるように



貴重な意見をいただき、とても参考になりました

健康を保つにはまず食事から (三本木)

2月16日、三本木総合支所ふれあいホールにおいて、三本木まちづくり協議会教育部会主催による「食育シンポジウム」が開催されました。

会場には、約180人が集まり、「国民の盛衰は食べ方による!？」と題した宮城大学の鈴木建夫教授の基調講演の後、「食育を通したまちづくり」をテーマにパネルディスカッションが行われました。参加した皆さんは、このイベントを通して地域が一体となって「食育」について考えることの大切さをあらためて実感していました。



会員一丸となって新しいスタートを切ります

首都圏大崎連絡協議会設立総会 大崎市の発展に向けた新たな一歩

2月16日、東京都内で「首都圏大崎連絡協議会設立総会」が開催されました。

この会は、首都圏在住の大崎市出身者が活発な交流・情報交換を行うために設立されたもので、首都圏での大崎市の知名度アップや交流事業への参加など、ふるさとのために一肌脱いで活躍してくれる応援団でもあります。

当日は、大崎市出身者と市からの関係者約90人が参加し、総会後の懇親会では、地発泡酒「鳴子の風」や「田尻ハム」が振る舞われ、ふるさと談義に花を咲かせました。



ふるかわ産直厨房



鹿島台産直厨房

ふるかわ産直厨房、鹿島台産直厨房 食と音楽が織り成す協奏曲 (古川、鹿島台)

2月14日、アインパル浦島を会場に「ふるかわ産直厨房～食・楽コンサート～」が開催されました。

ふるかわ産直厨房は、古川地域認定農業者連絡協議会の会員が丹精込めて作った農産物を消費者にPRする目的で始まり、今年で6回目を迎えます。

当日は、バリトン歌手の成田博之氏(古川地域高倉地区出身)とピアニスト渡邊洋子氏(加美町在住)によるコンサートを楽しんだ後、夕食会が行われ、古川なすを使ったサラダや麻婆茄子、古川産のいちごとひとめぼれを使ったライスババロアなど、趣向を凝らしたさまざまな料理で参加者の舌を魅了しました。

また、2月11日には、第1回目となる「鹿島台産直厨房～食と音楽のハーモニー～」がみちのく路温泉湯治館「そよ風」を会場に開催され、ソプラノ歌手の勝又久美子氏のすばらしい歌声を聞いた後、鹿島台産の食材を使った料理に舌鼓を打ち、参加者はお腹も心も満たされました。

どちらも受け付け後にすぐ100人の定員に達し、産直厨房は大盛況のうちに幕を閉じました。